

株式会社ビコー 環境行動計画

取組方針

株式会社ビコーは、『環境の整備にお応えする』ことをモットーに、建築現場においてハウスクリーニングや建設廃材の処分などのサービスを提供しております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境の調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくする為に、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 二酸化炭素の総排出量を2%削減する
- ② 水道使用量を2%削減する
- ③ コピー用紙の少量の削減

20年度の使用量を計測し21年度より低減目標を定めます

この方針に基づいて社員1人1人が自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 8月20日

株式会社 ビコー
代表取締役 松下 金五

※ 環境負荷の低減目標

20年度に向けての環境負荷の低減目標は、つぎの通りです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも19年です。)

*21年度については、20年度の結果をふまえ、新たな低減目標を定める。

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標 2】 水道使用量を2%削減する。



※ 環境保全に向けた具体的な取り組み。

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(工事部門での活動)

- ・アイドリングの厳禁
- ・集配ルートを効率的に計画し時間燃料の削減に努める
- ・エコドライブの推進体制を作り、組織的に取り組む
- ・車両の点検、整備と燃費の確認を定期的に行う

(事務、生活部門での活動)

- ・空調温度は適温に調整する(参考:冷房28度前後、暖房20度程度)
- ・空調を必要な区域時間に限定する
- ・空調機や照明器具などの点検、整備を定期的に行う
- ・OA機器の節電機能を徹底する
- ・クールビズ、ウオームビズに取り組む

【取組 2】適切な資源利用(水資源)

- ・洗車を利用する時は、水を流しっぱなしにしないようにする
- ・水道配管からの漏水を定期的に点検する
- ・洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・水道蛇口に節水こまをとりつける

【取組 3】コピー用紙使用量の削減

*20年度の使用量を計測し21年度より下記の低減目標を定めます。

- ・両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・使用済み用紙の裏面を利用する
- ・書類、資料の電子データ化を進める

いしかわ事業者版環境ISO
取組組織図

株式会社 エコー

